



## 2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月10日

上場会社名 株式会社良品計画 上場取引所 東  
 コード番号 7453 URL <https://ryohin-keikaku.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松崎 暁  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画室長 (氏名) 牧 光弥 TEL 03-3989-5972  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第3四半期の連結業績（2019年3月1日～2019年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	328,203	7.9	29,820	△14.5	30,174	△15.5	20,503	△32.4
2019年2月期第3四半期	304,215	8.7	34,859	3.9	35,720	3.7	30,309	30.2

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 17,164百万円 (△41.0%) 2019年2月期第3四半期 29,070百万円 (18.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	78.02	77.86
2019年2月期第3四半期	115.46	115.22

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第3四半期	317,191	203,283	62.8	757.39
2019年2月期	258,309	195,189	73.8	725.83

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 199,139百万円 2019年2月期 190,669百万円

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	191.00	—	196.00	387.00
2020年2月期	—	182.00	—		
2020年2月期（予想）				18.20	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。2020年2月期（予想）の期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	443,700	8.3	37,800	△15.5	38,000	△17.1	25,100	△25.8	95.51

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。2020年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 - 社（社名 -）、除外 - 社（社名 -）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
詳細は、【添付資料】P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期3Q	280,780,000株	2019年2月期	280,780,000株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	17,849,940株	2019年2月期	18,087,860株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期3Q	262,806,048株	2019年2月期3Q	262,498,154株

（注）当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、2019年7-9月期の実質GDP成長率が前期比プラス0.4%（年率換算プラス1.8%）となりました。消費税増税前の駆け込み需要の取り込み影響等により個人消費が底堅く推移いたしました。

また世界経済は、米中貿易摩擦の長期化、イギリスのEU離脱問題など不安定な国際情勢が持続しており、先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは“「感じ良いくらし」を実現する企業”として、『ムダをなくす取組み（廃棄物削減）』『天然資源の保全』『安心・安全への配慮』『絆を大切にする活動』『温暖化への配慮』といったテーマを軸に、より良い商品の開発、店舗数の拡大に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、次のとおりであります。

営業収益	3,282億3百万円	（前年同期比 7.9%増）
売上高	3,275億16百万円	（前年同期比 7.9%増）
営業利益	298億20百万円	（前年同期比 14.5%減）
経常利益	301億74百万円	（前年同期比 15.5%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	205億3百万円	（前年同期比 32.4%減）

セグメント毎の経営成績は、次のとおりであります。なお、文中の店舗数は、無印良品、MUJIcom、MUJI to Go、Cafe MUJI、Cafe&Meal MUJI、IDEE店舗等の合計を表記しております。

① 国内事業

国内事業の当第3四半期連結累計期間の営業収益は2,057億3百万円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益は204億65百万円（同5.1%減）となりました。

同連結会計期間末の国内店舗数は、478店舗（前期末差20店舗増）となりました。

同連結会計期間においては、台風や大雨の影響による営業の短縮や休業が発生いたしました。消費税増税前の駆け込み需要の取り込みや、顧客向け施策が功を奏し、営業収益が増加いたしました。

衣服・雑貨では「綿フランネルスタンドカラーシャツ」や、「ウールシルク」シリーズ等が好調に推移いたしました。また、「肩の負担を軽くする撥水リュックサック」や「撥水サコッシュ」のバッグも伸びいたしました。

生活雑貨では、毛布や寝装ファブリックの動向が良く、「シリコーン調理スプーン」などの価格見直しアイテムが売上を伸ばしました。

食品では、「レトルトカレー」シリーズや、「不揃いバウム」シリーズなどの商品が好調でした。

② 東アジア事業

東アジア事業の当第3四半期連結累計期間の営業収益は903億30百万円（同4.0%増）、セグメント利益は115億60百万円（同13.3%減）となりました。

同連結会計期間末の店舗数は、394店舗（前期末差19店舗増）となりました。

東アジア事業の一部の国や地域での情勢不安等により、セグメント利益が減少いたしました。中国においては衣服が好調に推移いたしました。生活雑貨では価格を見直したノートや、中国企画商品の「ステンレスマグ」が伸びいたしました。

③ 欧米事業

欧米事業の当第3四半期連結累計期間の営業収益は197億12百万円（同18.0%増）、セグメント損失は27億48百万円（前年同期は8億15百万円の損失）となりました。

同連結会計期間末の店舗数は、70店舗（前期末差3店舗増）となりました。

欧州においては、衣服・雑貨商品が好調に推移し、また新規国での出店を行い増収となりましたが、開店前費用が増加いたしました。

北米では経費のコントロールを行い改善を進めましたが、在庫増に伴い差益率が悪化、売上計画も未達となりました。

④ 西南アジア・オセアニア事業

西南アジア・オセアニア事業の当第3四半期連結累計期間の営業収益は124億56百万円（同7.3%増）、セグメント損失は1億61百万円（前年同期は3億24百万円の利益）となりました。

同連結会計期間末の店舗数は、82店舗（前期末差7店舗増）となりました。

マレーシアでは、衣服・雑貨の定番商品が継続して好調に推移し、売上の下支えができました。シンガポールでは価格を見直した紳士、婦人のカットソーが大きく伸長いたしました。人件費・物流費等は増加いたしました。また、オーストラリアでは改装にかかる宣伝費等の経費が先行いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は、3,171億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ588億81百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少162億60百万円、受取手形及び売掛金の増加64億73百万円、商品の増加219億90百万円、未収入金の増加49億61百万円、建物及び構築物（純額）の増加46億27百万円、使用権資産（純額）の増加266億32百万円、無形固定資産その他の増加69億91百万円によるものです。

負債は1,139億8百万円となり、507億87百万円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加143億79百万円、短期借入金の増加155億12百万円、未払法人税等の減少97億41百万円、流動負債及び固定負債のリース債務の増加277億54百万円によるものです。

純資産は2,032億83百万円となり、80億94百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加104億75百万円、繰延ヘッジ損益の増加11億14百万円、為替換算調整勘定の減少37億59百万円によるものです。

この結果、連結ベースの自己資本比率は、前連結会計年度末の73.8%から62.8%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2019年10月10日の「2020年2月期 第2四半期決算短信」にて発表いたしました2020年2月期（2019年3月1日～2020年2月29日）の通期の連結業績予想につきまして、東アジア事業の一部の国や地域での情勢不安等や、価格施策の増加により売上総利益が計画を下回ったため、下記の通り修正いたしました。

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	455,451	45,296	44,535	29,470	112.11
今回修正予想 (B)	443,700	37,800	38,000	25,100	95.51
増減額 (B-A)	△11,751	△7,496	△6,535	△4,370	—
増減率 (%)	△2.6%	△16.5%	△14.7%	△14.8%	—
(ご参考) 前期実績 (2019年2月期)	409,697	44,743	45,861	33,845	128.92

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	55,444	39,183
受取手形及び売掛金	8,920	15,393
商品	88,004	109,995
仕掛品	202	475
貯蔵品	59	54
未収入金	10,663	15,625
その他	4,231	7,206
貸倒引当金	△3	△3
<b>流動資産合計</b>	<b>167,522</b>	<b>187,930</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	54,752	61,830
減価償却累計額	△24,331	△26,780
建物及び構築物(純額)	30,421	35,049
機械装置及び運搬具	4,461	4,660
減価償却累計額	△2,246	△2,531
機械装置及び運搬具(純額)	2,214	2,128
工具、器具及び備品	22,223	24,495
減価償却累計額	△13,261	△13,698
工具、器具及び備品(純額)	8,961	10,797
土地	1,907	1,907
リース資産	88	88
減価償却累計額	△20	△25
リース資産(純額)	68	62
使用権資産	—	30,952
減価償却累計額	—	△4,320
使用権資産(純額)	—	26,632
建設仮勘定	2,592	1,426
<b>有形固定資産合計</b>	<b>46,167</b>	<b>78,004</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	4,237	3,489
その他	12,242	19,234
<b>無形固定資産合計</b>	<b>16,479</b>	<b>22,723</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	4,422	4,490
繰延税金資産	1,454	1,422
敷金及び保証金	18,653	18,622
その他	3,735	4,116
貸倒引当金	△125	△121
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>28,140</b>	<b>28,531</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>90,787</b>	<b>129,260</b>
<b>資産合計</b>	<b>258,309</b>	<b>317,191</b>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	20,724	35,104
短期借入金	825	16,337
1年内返済予定の長期借入金	397	—
未払金	8,770	9,830
未払費用	5,185	6,014
未払法人税等	11,166	1,424
リース債務	7	4,757
賞与引当金	1,439	1,727
役員賞与引当金	74	69
返品調整引当金	46	—
ポイント引当金	67	97
その他	4,867	3,887
流動負債合計	53,574	79,250
固定負債		
長期借入金	557	1,053
繰延税金負債	3,496	5,434
リース債務	60	23,065
役員退職慰労引当金	39	47
その他	5,391	5,056
固定負債合計	9,546	34,657
負債合計	63,120	113,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	10,826	10,869
利益剰余金	186,364	196,840
自己株式	△14,780	△14,197
株主資本合計	189,177	200,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,885	1,898
繰延ヘッジ損益	568	1,682
為替換算調整勘定	△961	△4,720
その他の包括利益累計額合計	1,492	△1,138
新株予約権	390	663
非支配株主持分	4,128	3,480
純資産合計	195,189	203,283
負債純資産合計	258,309	317,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
売上高	303,546	327,516
売上原価	147,547	163,414
売上総利益	155,999	164,102
営業収入	669	687
営業総利益	156,668	164,789
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	4,644	5,352
配送及び運搬費	13,020	15,989
従業員給料及び賞与	35,865	38,956
役員賞与引当金繰入額	58	47
借地借家料	29,831	28,209
減価償却費	7,287	12,511
ポイント引当金繰入額	32	30
その他	31,069	33,872
販売費及び一般管理費合計	121,808	134,969
営業利益	34,859	29,820
営業外収益		
受取利息	399	405
受取配当金	168	80
貸倒引当金戻入額	4	4
持分法による投資利益	24	52
補助金収入	453	524
その他	383	309
営業外収益合計	1,434	1,376
営業外費用		
支払利息	19	584
支払手数料	0	0
為替差損	505	293
その他	48	143
営業外費用合計	573	1,021
経常利益	35,720	30,174
特別利益		
投資有価証券売却益	8,634	—
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	8,635	1
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	164	313
特別損失合計	164	313
税金等調整前四半期純利益	44,191	29,861
法人税等	13,768	9,938
四半期純利益	30,422	19,922
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	113	△581
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,309	20,503



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	30,422	19,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,131	13
繰延ヘッジ損益	4,459	1,114
為替換算調整勘定	△2,664	△3,882
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	△3
その他の包括利益合計	△1,352	△2,758
四半期包括利益	29,070	17,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,120	17,872
非支配株主に係る四半期包括利益	△50	△707

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、一部の連結子会社において、主として当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

（会計方針の変更）

当社グループの一部の海外連結子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、IAS第17号「リース」におけるオペレーティング・リース（借手）については適用開始日に使用権資産及びリース債務を認識しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用いたしました。

この結果、当第3四半期連結貸借対照表上、使用権資産（純額）として26,632百万円が計上され、流動負債及び固定負債のリース債務にそれぞれ4,749百万円、23,010百万円が含まれております。また、第1四半期連結会計期間期首の利益剰余金が63百万円減少しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	欧米事業	西南 アジア・ オセアニア 事業	計			
営業収益								
(1)外部顧客への 営業収益	188,998	86,893	16,710	11,612	304,213	2	—	304,215
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	0	—	—	—	0	14,484	△14,484	—
計	188,998	86,893	16,710	11,612	304,214	14,486	△14,484	304,215
セグメント利益 又は損失(△)	21,573	13,336	△815	324	34,419	409	31	34,859

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額31百万円にはセグメント間取引消去35百万円、棚卸資産の未実現利益消去△4百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	欧米事業	西南 アジア・ オセアニア 事業	計			
営業収益								
(1)外部顧客への 営業収益	205,703	90,330	19,712	12,456	328,202	1	—	328,203
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	—	—	—	—	—	11,879	△11,879	—
計	205,703	90,330	19,712	12,456	328,202	11,881	△11,879	328,203
セグメント利益 又は損失(△)	20,465	11,560	△2,748	△161	29,116	489	213	29,820

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額213百万円にはセグメント間取引消去△53百万円、棚卸資産の未実現利益消去267百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。